

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-313180

(43)Date of publication of application : 09.11.1999

(51)Int.Cl.

H04N 1/00

H04M 1/64

H04M 11/00

H04N 1/32

(21)Application number : 10-116395

(71)Applicant : MURATA MACH LTD

(22)Date of filing : 27.04.1998

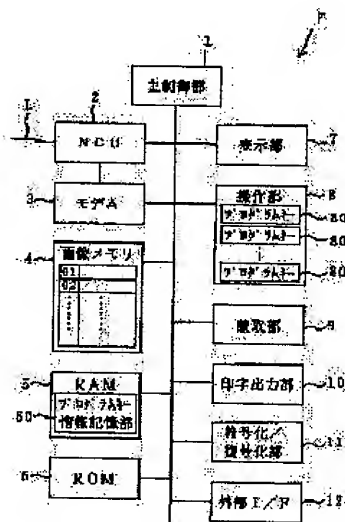
(72)Inventor : KUWABARA TETSUYA

(54) FACSIMILE EQUIPMENT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To execute various job processings at the time of reception from a specified originating source and to effectively use originating source information by previously registering and setting a basic setting item required for the specified job processings of the printing and transfer of picture data at the time of reception in a program key as a macro key function.

SOLUTION: The respective program keys 80 of a facsimile equipment execute setting by dividing it to the function setting of the jobs of PC-up, printing and transfer, which are required for a job processing corresponding to originating source information, and the execution setting of the number of printing pieces and a transfer destination facsimile number. Various information which are registered/set are stored in the program key information storage part 50 of RAM 5. When an incoming call arrives, originating source information from an opposite facsimile equipment is received. When originating source information which corresponds to received origination source information and which is registered/set by the program key 80 is sequentially retrieved and if a matched function setting and execution setting exist, they are executed. Thus, originating source information transmitted from an opposite party can effectively be used.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-3131

(43) 公開日 平成11年(1999)11月

(51) Int. Cl. ⁶	識別記号	P I
H04N 1/00		H04N 1/00 C
H04M 1/64	101	H04M 1/64 101
	308	11/00 308
H04N 1/32		H04N 1/32 C

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 10)

(21) 出願番号 特願平10-116395

(22) 出願日 平成10年(1998)4月27日

(71) 出願人 000006297

村田機械株式会社

京都府京都市南区言祥院南落合町3番

(72) 発明者 桑原 哲也

京都市伏見区竹田向代町136番地 村田

株式会社本社工場内

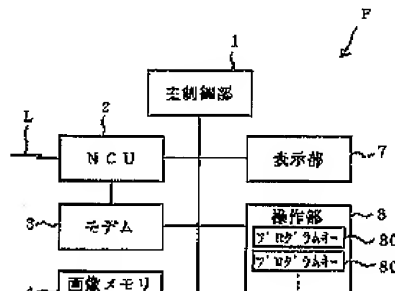
(74) 代理人 弁理士 中井 宏行

(54) 【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57) 【要約】

【課題】 ファクシミリ受信したときに、実行すべきジョブ処理を、予め発信元情報に対応させて登録設定できる。マクロキー機能を備えたファクシミリ装置を提供する。

【解決手段】 ファクシミリ受信した画像データに対する印字、転送などの特定のジョブ処理50a、50b、50iに必要な基本設定項目を、発信元情報50d、50e、50f、50g、50hに対応させて、予め登録設定できるようにしたプログラムキー80、80、・・・



【特許請求の範囲】

【請求項1】ファクシミリ受信した画像データに対する印字、転送などの特定のジョブ処理に必要な基本設定項目を、発信元情報に対応させて、予め登録設定できるようにしたプログラムキーを備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】請求項1において、上記プログラムキーには、発信元情報に対して実行すべき印字、転送などのジョブ処理を、少なくとも、機能設定、実行条件とに分けて登録できるようにし、ファクシミリ受信を受けたときに、ジョブ処理の機能のみが設定されているときには、実行条件の入力を要求するチェックメッセージを出力するようにしたファクシミリ装置。

【請求項3】請求項1または2において、上記プログラムキーには、発信元情報に対応させて、更にサブアドレスとパスワードとを登録設定できるようにしているファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、電話交換機や相手先のファクシミリ装置などから送出されてくる発信元情報を有効に利用して、特定の発信元からファクシミリ受信した場合に、特定のジョブ処理を指定実行することができる、新規な機能を備えたファクシミリ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】近時、オフィスなどにおいて、原稿の画像データを送受信するためにファクシミリ装置が広く使用されており、もはや必需品となっている。このようなファクシミリ装置では、画像データの送受信を行う前に、送信側と受信側との間で、所定の送信前手順を実行しており、送信前手順を実行している間には、画像データの送受信のために必要な情報が互いに送受信されている。

【0003】このような送信前手順では、発信元情報が送信側から受信側に送出されているが、発信元情報には、例えば、発信元の名称、発信元のファクシミリ番号、サブアドレスがあり、これらはそれぞれ、NSS（非標準機能設定信号）、TSI（送信端末識別信号）、SUB（サブアドレス信号）に格納されて送出さ

続いて受信する画像データを指定された受信ボックスに格納する。更に、発信元情報として、電話交換機側から呼ばれる信号が送出される場合もそれを受信側で解析し、発信者識別番号を表示し、一側で確認できるようになっている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来のファクシミリ装置では、電話交換機や送信側から送出されてくる発信元情報を受信しても、受信した情報を記録、あるいは表示したり、親展受信を実行して、受信した画像データを指定された受信ボックスに格納するのみであり、発信元情報を十分に有効利用するとはいえなかった。

【0006】本発明は、上記事情に鑑みて提案されたものであり、マクロキー機能として、電話交換機やファクシミリ装置などから送出されてくる発信を有効に利用して、特定のジョブ処理を予め指定することができるファクシミリ装置を提供することとしている。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成すべく、請求項1に記載のファクシミリ装置では、ファクシミリ受信した画像データに対する印字、転送などのジョブ処理に必要な基本設定項目を、発信元情報に対応させて、予め登録設定できるようにしたプログラム（マクロキー）を備えている。

【0008】ここに、プログラムキーは、装置本数個設けられており、本発明では、1つのプログラムに対して、発信元情報と、それに対応する特定のジョブ処理に必要な基本設定項目とを組み合わせて登録できるようにしている。このファクシミリ装置で呼があったときには、交換機や相手先のファクシミリ装置などから送出されてくる発信元情報を受信したプログラムキーに登録設定されている発信元情報を参照して、一致しているものがあるかどうかを判別致しているものがあれば、その発信元情報に対応登録されたジョブ処理の実行の有無を判別して発信元情報に対応してジョブ処理が登録設定されれば、ジョブ処理を実行する基本動作をなす。

【0009】請求項2に記載のファクシミリ装置

ている。請求項3に記載のファクシミリ装置では、プログラムキーには、発信元情報に対応させて、更にサブアドレスとパスワードとを登録設定できるようにしている。

【0011】ここに、サブアドレスとパスワードは、それぞれサブアドレス信号(SUB)とパスワード信号(SID)に格納されて送出され、ファクシミリ装置では、サブアドレスとパスワードとを受信すれば、プログラムキーに予め登録設定されているサブアドレスとパスワードとを順次検索して、一致しているものがあるかどうかを判別し、一致しているものがあれば、ファクシミリ装置は、予めプログラムキーに登録設定されたジョブ処理を実行する基本動作をなす。

【0012】

【発明の実施の形態】以下に、本発明のファクシミリ装置について、図面を用いて説明する。図1は、本発明のファクシミリ装置Fの構成の一例を示したブロック図である。このファクシミリ装置Fは、CPU等で構成され、以下の各部を制御する主制御部1、電話回線Lにダイヤル信号を送出したり、電話回線Lに対する接続制御を行うNCU2、ファクシミリ通信を行うために信号の変調と復調を行うモデム3、画像データを格納する画像メモリ4、発呼ダイヤル番号などを記憶するRAM5、このファクシミリ装置Fの動作に必要な各種プログラムを記憶したROM6、液晶画面やLEDランプなどで構成された表示部7、各種キーなどで操作手段を構成し、複数のプログラムキー80、80、・・・を備えた操作部8、スキャナにセットされた原稿から画像データを読み取る読取部9、読取部9で読み取った画像データや受信した画像データを、予めセットされた記録紙に印字出力する印字出力部10、画像データを1ライン毎に符号化、あるいは復号化する符号化/復号化部11、パーソナルコンピュータを接続して、画像メモリ4に格納した画像データをアップロードするための外部I/F12を備える。

【0013】このファクシミリ装置Fにおいて、画像メモリ4は、複数の画像データを格納できるように、複数のメモリボックスで構成されており、各ボックスには、ボックス番号が割り当てられ、各ボックス番号に対応させて格納状況(使用状況)が管理されるようになってい

【0015】図2は、プログラムキー情報記憶部構成の一例を示した図である。プログラムキー情報部50は、複数のプログラムキー80、80、・・・(＃1～＃N)に対して登録設定された各種の情報記憶できるように、複数のメモリボックスで構成され、各々のプログラムキー80、80、・・・(＃N)には、発信元情報とジョブ処理のための各項目とを組み合わせて、最大で256件登録設定ようにしている。

【0016】ここに、発信元情報としては、NS標準機能設定番号)情報50d、TSI(送信端番号)情報50e、コーラーID情報50f、S(サブアドレス信号)情報50g、SID(パスワード)情報50hが登録設定でき、NSS情報50iとして発信元の名称を例えば16文字以内、TSI0eとして発信元のFAX番号を例えば20桁以内、コーラーID情報50fとして発信者識別番号を例えば20桁以内、SUB情報50gとして発信元のサブアドレスを例えば20桁以内、パスワード情報として発信パスワードを例えば20桁以内で登録設定できるようにしている。

【0017】更に、ジョブ処理のための基本設定としては、それぞれ、機能設定と実行条件とを区分登録設定できるようにしており、ジョブ処理の機能としては、PCアップジョブ50aの有無(Y/N)字ジョブ50bの有無(Y/N)、転送ジョブ50cの有無(Y/N)を登録設定できるようにしている。PCアップジョブ50aとは、ファクシミリに接続されたパーソナルコンピュータに、外部I/F12を介して、受信した画像データをアップロードすることを意味し、印字ジョブ50bとは、受信した画像データを印字出力部10で印字出力することを意味し、ジョブ50cとは、受信した画像データを第3者ファクシミリ装置などに転送することを意味する。

【0018】一方の実行条件としては、印字ジョブ50bを実行するために必要な印字部数50d、転送ジョブ50cを実行するために必要な転送先FAX番号などを基本設定項目に含めて登録設定できるようにしている。なお、PCアップジョブ50aについては、な実行条件はない。また、図中では、転送先FAX

うにすれば、ユーザーにとって、登録設定する作業が容易にできる。次に、ファクシミリ装置Fの動作について、図3～図5を用いて説明する。

【0020】まず、着呼時における動作について、図3のフロー(100～109)を用いて説明する。まず、着呼があれば(100)、ファクシミリ装置Fは、プログラムキー情報記憶部50を参照して、PCアップジョブ50aの設定が「Y」になっているものがあるかどうかを順次検索する。(101)

PCアップジョブ50aの設定が「Y」になっているものが1つでもあれば、ファクシミリ装置Fは、NSS(非標準機能設定信号)情報50dを順次検索して、受信したNSS(非標準機能設定信号)に格納されている発信元の名称と一致するものがあるかどうかを判別し(102)、一致しているものがあれば、メモリ受信処理(後述)を実行する。

【0021】一方、ステップ101において、PCアップジョブ50aの設定が「Y」になっているものがなければ、ファクシミリ装置Fは、印字ジョブ50bの設定が「Y」になっているものがあるかどうかを順次検索し(103)、印字ジョブ50bの設定が「Y」になっているものが1つでもあれば、ステップ102以降の動作を実行し、印字ジョブ50bの設定が「Y」になっているものがなければ、転送ジョブ50iの設定が「Y」になっているものがあるかどうかを順次検索する。(104)

ステップ104での検索の結果、転送ジョブ50iの設定が「Y」になっているものが1つでもあれば、ファクシミリ装置Fは、ステップ102以降の動作を実行する一方、転送ジョブ50iの設定が「Y」になっているものがなければ、ファクシミリ装置Fは、通常受信を実行して、続いて受信する画像データを、画像メモリ4の空いている受信ボックスに格納し、印字する。

【0022】また、ステップ102における判別の結果、受信したNSS(非標準機能設定信号)に格納されている発信元の名称と一致するものがなければ、ファクシミリ装置Fは、TS1(送信端末識別信号)情報50eを順次検索し、受信したTS1(送信端末識別信号)に格納されている発信元のFAX番号と一致しているものがあるかどうかを判別する。(105)

アドレス)情報に格納されているサブアドレスと一致しているものがあるかどうかを判別する。(107)この判別の結果、一致しているものがあれば、ファクシミリ装置Fは、パスワード情報50hと受信した(パスワード情報)に格納されているパスワードと一致しているものがあるかどうかを判別し(108)一致しているものがあれば、ファクシミリ装置Fは、受信処理(後述)を実行する一方、一致しているものがなければ、通常受信を実行して、続いて受信するデータを、画像メモリ4の空いている受信ボックスに格納し、印字する。

【0023】一方、ステップ107における判別結果、一致しているものがなければ、ファクシミリ装置Fは、通常受信を実行して、続いて受信する画像データを、画像メモリ4の空いている受信ボックスに格納し、印字する。なお、このルーチンでは、ジョブ処理の基本設定項目を判別した後に、発信元情報を照会するが、本発明はこれに限らず、発信元情報の行った後に、ジョブ処理に必要な基本設定項目をともよい。

【0024】次に、メモリ受信処理について、図4(200～216)を用いて説明する。まずファクシミリ装置Fは、受信した画像データを、画像メモリ4の空いている受信ボックスに格納する。(200)このとき、ファクシミリ装置Fは、プログラムキー情報記憶部50を参照し、受信した発信元情報と一致する発信元情報(NSS情報50d、TS1情報50e、カラーID情報50f、SUB情報50g、S情報50h)が登録設定されているメモリボックスボックスナンバー50kを登録する。

【0025】続いて、ファクシミリ装置Fは、ボックスナンバー50kに登録されたメモリボックスに、PCアップジョブ50aの設定が「Y」になっているかどうかを判別する。(201)

この判別の結果、PCアップジョブ50aの設定「Y」になっておれば、ファクシミリ装置Fは、がパーソナルコンピュータと接続されているかどうかを判別し(202)、接続されていない場合は、メッセージを表示部7によって表示、あるいは印字し(203)によって印字出力して、ユーザーに接続を指

り4に格納した画像データを、外部I/F12を介して、パーソナルコンピュータにアップロードして(204)、ステップ205以降の動作を実行する。また、ステップ201における判別の結果、PCアップジョブ50aの設定が「Y」になっていなければ、ファクシミリ装置Fは、ステップ205以降の動作を実行する。

【0027】ステップ205では、印字ジョブ50bの設定が「Y」になっているかどうかを判別しており、この判別の結果、印字ジョブ50bの設定が「Y」になっておれば、ファクシミリ装置Fは、印字部数50cの設定が「0」であるかどうかを判別し(206)、「0」であれば、手動プリントのフラグをセットして(207)、ステップ209以降の動作を実行する一方、印字部数50cの設定が「0」でなければ、画像メモリ4に格納した画像データを、印字出力部11によって、登録設定された部数だけ印字出力して(208)、ステップ209以降の動作を実行する。

【0028】また、ステップ205における判別の結果、印字ジョブ50bが「Y」になっていなければ、ファクシミリ装置Fは、ステップ209以降の動作を実行する。ステップ209では、ファクシミリ装置Fは、続いて同じメモリボックスを参照して、転送ジョブ50iの設定が「Y」になっているかどうかを判別しており、転送ジョブ50iの設定が「Y」になっておれば、ファクシミリ装置Fは、転送先FAX番号50jが登録されているかどうかを判別し(210)、転送先FAX番号50jが登録されておれば、登録されている転送先を呼び出して、画像メモリ4に格納された画像データを転送する。(211)

一方、ステップ210において、転送先FAX番号50jが登録されていなければ、ファクシミリ装置Fは、手動転送のフラグをセットする。(212)

以上の動作を繰り返して、全ジョブのチェックが終了すれば(213)、ファクシミリ装置Fは、手動プリント、あるいは手動転送のフラグがセットされているかどうかを判別し(214)、手動プリント、あるいは手動転送のフラグがセットされていなければ、画像メモリ4に格納した画像データをクリアした後(215)、プログラムキー情報記憶部50のメモリボックスに登録した受信ボックスナンバー50kをクリアして、メモリ受信

ナンバー50kを登録したプログラムキー80号、手動プリント部数、あるいは転送先FAX番力を指示する旨をユーザーに通知するものであろう。また、チェックメッセージは、スピーカ(不図示)の音声によって、ユーザーに通知されるものでもよい。こうすれば、ユーザーに対して、より明確にできる。

【0031】次に、手動プリント、手動転送処理で、図5のフロー(300~309)を用いて説明する。まず、ファクシミリ装置Fは、表示部7によれば、例えば、「プログラムキーを押して下さい。」とメッセージを表示して、ユーザーに対して、プログラムキーの入力を指示する。(300)

そこで、ユーザーが、ステップ216(図2)に表示あるいは印字出力された番号のプログラムキーを操作すれば(301)、ファクシミリ装置Fはプリントのフラグがセットされているかどうかを(302)、手動プリントのフラグがセットされれば、例えば、「手動プリント部数を入力して下さい」といったメッセージを表示して、ユーザーに対し手動プリント部数の入力を指示する。(303)

ユーザーが、手動プリント部数を入力すれば(304)、ファクシミリ装置Fは、画像メモリ4に格納した画像データを、印字出力部10によって印字出力(305)、手動プリントのフラグをクリアして(306)、ステップ307以降の動作を実行する。

【0032】一方、ステップ302において、手動プリントのフラグがセットされていなければ、ファクシミリ装置Fは、ステップ307以降の動作を実行する。ステップ307では、ファクシミリ装置Fは、手動転送のフラグがセットされているかどうかを判別しており、転送のフラグがセットされていれば、例えば、「FAX番号を入力して下さい。」といったメッセージを表示して、ユーザーに対して、転送先FAX番号を指示する。(308)

ユーザーが、転送先FAX番号を入力すれば(309)、ファクシミリ装置Fは、入力された転送先について、画像メモリ4に格納した画像データを転送(310)、手動転送のフラグをクリアする。(311)

した画像データに対する印字、転送などの特定のジョブ処理に必要な基本設定項目を、マクロキー機能として、予めプログラムキーに登録設定するようにしている。特定の発信元からファクシミリ受信したときに、予めプログラムキーに登録設定されている各種ジョブ処理を実行でき、発信元情報を有効に利用することができる。

【0035】請求項2に記載のファクシミリ装置では、プログラムキーには、発信元情報に対して実行すべき印字、転送などのジョブ処理を、機能設定、実行条件とに分けて登録できるようにし、ファクシミリ受信を受けたときに、ジョブ処理の機能のみが設定されているときには、実行条件の入力を要求するチェックメッセージを出力するようにしている。ユーザーが、このチェックメッセージを参照して実行条件を入力すれば、ジョブ処理が実行されるので、融通性がよく、実際の使用にあたっての使い勝手がよい。

【0036】請求項3に記載のファクシミリ装置では、プログラムキーには、発信元情報に対応させて、サブアドレスとパスワードとを少なくとも登録設定できるようにしている。サブアドレスとパスワードさえ登録設定しておけば、受信した、サブアドレスとパスワードが一致すれば、予めプログラムキーに登録設定されているジョブ処理が実行される。

【図面の簡単な説明】

*【図1】本発明のファクシミリ装置の一例を示すブロック図である。

【図2】プログラムキー情報記憶部の構成の一例を示す図である。

【図3】ファクシミリ装置の基本動作について説明するための図である。(着呼時)

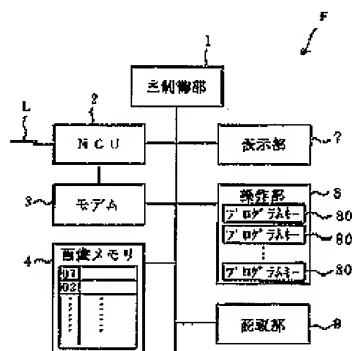
【図4】ファクシミリ装置の基本動作について説明するための図である。(メモリ受信処理時)

【図5】ファクシミリ装置の基本動作について説明するための図である。(手動プリント、手動転送処理)

【符号の説明】

- F・・・ファクシミリ装置
- 50・・・プログラムキー情報記憶部
- 50a・・・PCアップジョブ
- 50b・・・印字ジョブ
- 50c・・・印字部数
- 50d・・・NSS情報(発信元の名称)
- 50e・・・TSI情報(発信元のFAX番号)
- 50f・・・コーラーID情報(発信者識別番号)
- 50g・・・サブアドレス情報(発信元のサブアドレス)
- 50h・・・パスワード情報(発信元のパスワード)
- 50i・・・転送ジョブ
- 50j・・・転送先FAX番号
- 80・・・プログラムキー

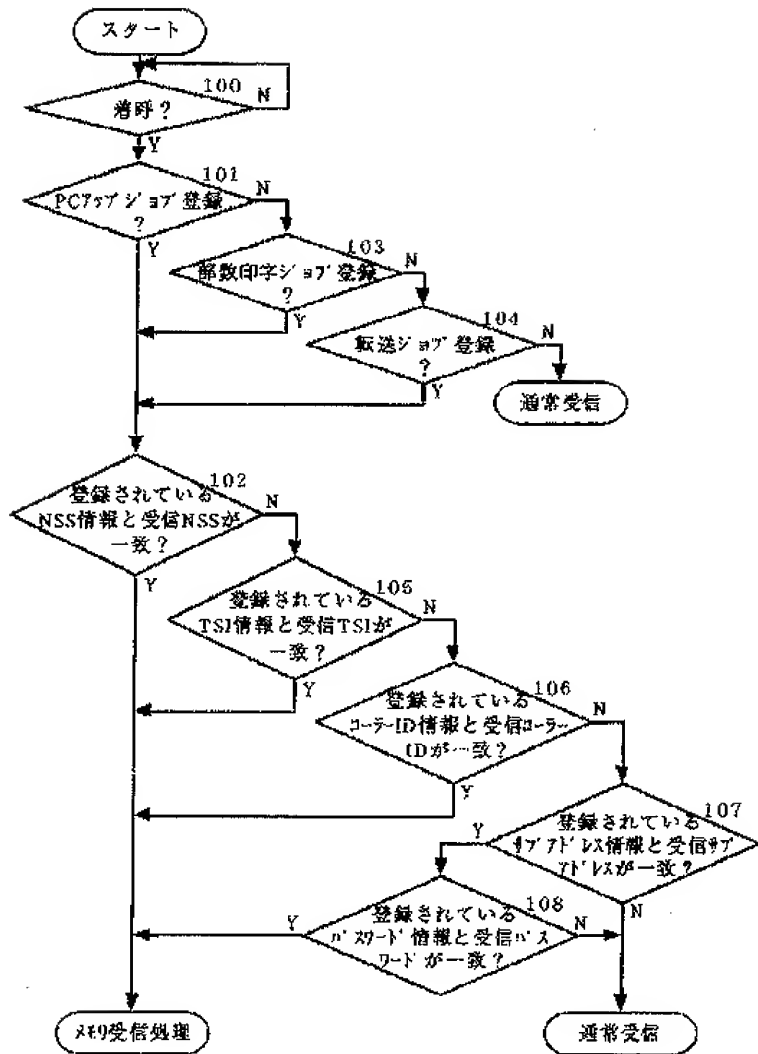
【図1】



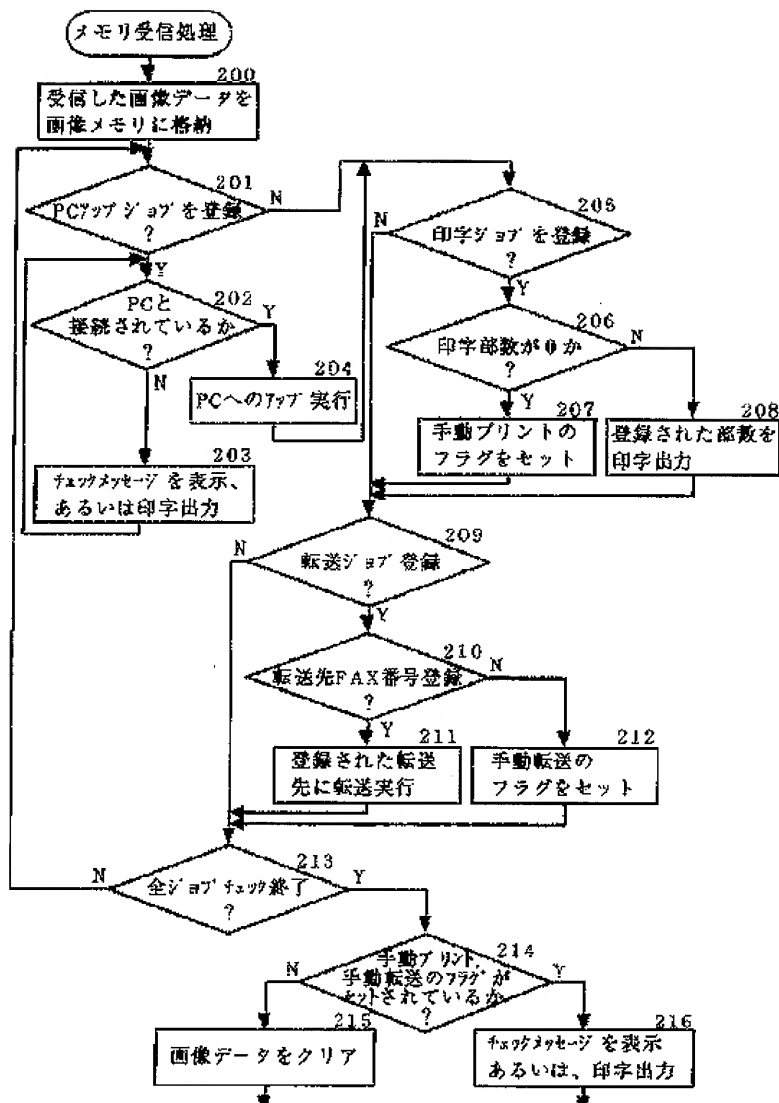
【图2】

[illegible]

【図3】



【図4】



【図5】

